厚生労働省補助事業

令和8年度　公開シンポジウム

広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター

# これからの地域歯科医療を考える

## ー医科歯科連携・地域施策・診療報酬の視点からー

参加費 無料

要事前申し込み

2027 3/14(日) 13:00-15:45

**会場**

**広島県歯科医師会館２階　ハーモニーホール**

〒７３２－００５７　広島県広島市東区二葉の里３－２－４

**お申し込み方法**

参加お申し込みはこちらから

**申し込み締切：3月7日(日)**

**開催趣旨**

高齢化が進む中、歯の喪失を防ぐことに加え、食べる・話すといった口腔機能を生涯にわたって維持することは、全身の健康や生活の質を支えるうえで重要です。
とりわけ、通院が困難になっても、住み慣れた地域で安心して歯科医療を受けられるよう、医療・介護・福祉が連携し、切れ目なく支える体制づくりが求められています。
本シンポジウムでは、医科歯科連携、地域施策、診療報酬の視点から、地域歯科医療の現状と課題を共有します。さらに、在宅歯科医療の充実や多職種との連携、地域の実情に応じた提供体制の整備について議論を深め、誰もが必要な歯科医療を受けながら、自分らしく暮らし続けられる、持続可能な地域歯科医療のあり方を考えます。

### 講演　1



**歯科医療のこれからを制度・臨床の視点から考える**

菊谷 武 先生
日本歯科大学　教授
口腔リハビリテーション多摩クリニック　院長

### 講演　2



**広島県における**
**地域歯科保健医療の現状と展望**
**―在宅歯科医療の実態・ニーズ調査を踏まえて―**

武内 聡 先生
広島県健康福祉局
健康づくり推進課 課長

## 講演 1　[13:05-14:05]



**菊谷武** 先生　日本歯科大学　教授／口腔リハビリテーション多摩クリニック　院長

### 歯科医療のこれからを制度・臨床の視点から考える

高齢になっても自分の歯を保つ人が増え、健康寿命の延伸につながっています。
しかし、「歯があること」だけではおいしく食べることは実現できない場合もあり、口腔機能全体の健康が求められています。
さらに、人生の最終段階までいかに口腔の健康を守り、支え続けるかが喫緊の課題です。
本講演では、超高齢社会において求められ、これからの歯科医療を制度と臨床の両面から考察します。

## 講演 2　[14:05-15:05]



**武内聡** 先生　広島県健康福祉局/健康づくり推進課　課長

### 広島県における地域歯科保健医療の現状と展望
### ―在宅歯科医療の実態・ニーズ調査を踏まえて―

高齢化が進む中、住み慣れた地域で歯科医療・口腔健康管理を受けられる体制の構築が重要です。本講演では、広島県の歯科保健医療施策を概観し、令和８年度に県内の歯科医療機関及び市町を対象に実施した歯科訪問診療・訪問口腔衛生指導に関する調査結果を紹介します。地域差、担い手確保、設備整備、人材育成、連携・マッチング等の課題を踏まえ、地域保健医療を支える歯科の役割と、持続可能な提供体制に向けた今後の方向性を考えます。

**プログラム**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 13:00~13:05 | 開会挨拶 | 広島大学　歯学部 | 歯学部長　柿本　直也 |
| 13:05~14:05 | 講演　1 | 日本歯科大学 教授／口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長 | 菊谷　武　先生 |
| 14:05~15:05 | 講演　2 | 広島県健康福祉局　健康づくり推進課 | 課長　武内　聡　先生 |
| 15:05~15:15 | 休憩 | | |
| 15:15~15:40 | センター紹介 | 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター | 副センター長　倉脇　由布子<br>教育研究補助職員　瀬川　昌枝 |
| 15:40~15:45 | 閉会挨拶 | | |

## お問い合わせ


**広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター**
〒734-8553
広島県広島市南区霞1-2-3歯学部B棟1階

TEL:082-257-1953
✉dhe@hiroshima-u.ac.jp


HP　公式LINEアカウント　Instagram